

# 平成28年度学校評価結果報告書

## 目次

1. 平成28年度岩瀬日本大学高等学校自己評価結果……P1～P2
2. 平成28年度岩瀬日本大学高等学校外部評価結果……P3～P5
3. 平成29年度取り組み目標と方策……P6～P9

岩瀬日本大学高等学校

## 平成28年度 岩瀬日本大学高等学校自己評価結果

本校の目指す学校像	生徒のもつ生きる力(一人ひとりが「夢＝やりたいこと」を見つけ、それを持ち続ける力)を育む。そのために、一人ひとり大切に、「わかった」「できた」喜びを実感できるわかる授業の展開、教育環境の美化に努め、進路指導の充実、生徒会活動・委員会活動・部活動の充実を図る。
本校の特長及び課題	日本大学の付属としてのメリットを活かした日本大学への推薦入学をはじめ、国公立大学、私立大学への進学でも高い現役大学進学率を誇っている。そのことは徐々に地域でも理解されている。しかし、生徒の学力は付属校25校の中で下位に位置し、大学進学に必要な学力の達成が不十分であるので学力向上に努める必要がある。また、公立高校志向の強い地域での生徒確保に向けて進学以外の更なる魅力ある学校づくりが必要である。

### 平成28年度の取り組み重点項目

<p>昨年度、日本大学の推薦入試制度の変革が心配されたが、先生方や生徒の努力により一昨年以上の成果を上げることができた。今年度は、昨年度の施策をさらに検討し、良策と思われることを踏襲し、昨年度と同等かそれ以上の進路実績を上げることを目標に、学習指導や進路指導に取り組んでゆく。</p> <p>生徒指導では、落ち着いた学校生活を送っている生徒がほとんどだが、すべての生徒が安心安全な学校生活を送れるように生活環境を整えてゆく。また昨年度より、いじめ撲滅を目標に立ち上げた「いじめ防止対策室」継続して運営し、昨年度同様いじめ0を目指す。</p> <p>特別活動や生徒会活動では、生徒の自主的な行動が目覚め始めており、それを育み、さらに地域と関わり、貢献できる生徒の育成に努める。</p> <p>学校行事においては、今年度の変更した行事の検討会を開き、メリットデメリットを洗い出し、よりよい形で次年度に引き継げるように精選に努める。</p>
---

### 平成28年度の取り組み結果

<p>学力向上の面では、昨年度より下位層の学力アップが見られ、日本大学推薦基準の上位8割に入る生徒を増やしている。また進路面では、日本大学への内部推薦数を昨年度より1名増やし104名としている。国立特進コースにおいても、現時点で新潟大学、青山学院大学の推薦を決めるなどさい先の良いスタートが切れている。</p> <p>生徒指導では、いじめ防止対策に昨年度同様に努めてきたが、1年生で1件いじめと認定される事案が発生してしまった。該当生徒の指導は、担任を始め学年等学校全体で行い、繰り返さないように注視している。また、引き続き、教員による生徒の見守りを続け、防止や早期発見に努めている。</p> <p>部活動では、卓球、剣道、ソフトテニスなどの運動部は昨年度同様の実績を出す事が出来た他、文化部においても全国大会に出場し、表彰されるなどの功績を挙げることが出来た。生徒会活動も昨年度より自主的な活動が増え、また、今年度も夏休みに近隣の小学校への学習指導ボランティア活動の地域を広げ貢献の拡大が図られた。学校行事も実施時期や内容の見直しを図られ実績が上がった。</p>
--

### 自己評価結果(総合)

<p>評価基準: A(よくできている), B(できている), C(あまりできていない), D(できていない)</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;"><b>B</b></p>
--

### 1. 学力向上に関する事項

①授業に関する項目	<p>評価項目</p> <p>(1)指導目標は十分達成されているか。</p> <p>(2)教科の目標・指導内容・評価計画等を明確にした年間指導計画を作成しているか。</p> <p>(3)生徒一人一人が主体的に学習に取り組む工夫がなされているか。</p> <p>(4)生徒個々に合わせた指導を行っているか。</p> <p>(5)適切な成績・進級判定ができているか。</p> <p>(6)生徒に満足される授業ができているか。</p>	<b>B</b>
②学習環境および連携に関する項目	<p>評価項目</p> <p>(1)施設・設備は教育活動に支障がないか。</p> <p>(2)各コースにあったカリキュラム編成ができているか。</p> <p>(3)1クラスの人数は適正であるか。</p> <p>(4)生徒の学習、課外活動に対して、図書室等の施設、運営は有効に機能しているか。</p> <p>(5)生徒の成績や学習状況が把握され、その情報が共有されているか。</p> <p>(6)問題を抱える生徒への指導方針が共有化され、統一された指導がなされているか。</p>	<b>B</b>
③成績管理および教員研修に関する項目	<p>評価項目</p> <p>(1)生徒の個人情報の管理および生徒指導要録の記入、指導、点検、保管は的確になされているか。</p> <p>(2)教員の資質向上のために自己研修に努めているか。</p> <p>(3)授業改善に向けた組織的な取り組みや工夫がされているか。</p> <p>(4)校内・校外への研修参加を奨励したり研究紀要へ出稿を促す等、教職員の資質の向上に配慮しているか。</p>	<b>B</b>

## 2. 学校生活に関する事項

①学年および学級運営に関する項目	<p>評価項目(資料3, 資料4及び資料5参照)</p> <p>(1)学年・学級の目標, 指導計画を明確に示され, 運営されていたか。また, その反省を行ったか。</p> <p>(2)LHRの時間が計画的に運営されていたか。また, その反省を行ったか。</p> <p>(3)学年の役割分担を果たし, 組織の一役を担っているか。</p> <p>(4)学校行事等に計画的, 積極的に参加する指導ができたか。また, 事後指導ができたか。</p> <p>(5)生徒の健康や生活状況が把握され, その情報を共有し指導できたか。</p> <p>(6)生徒の成績や学習状況が把握され, その情報が共有され指導できたか。</p> <p>(7)問題を抱える生徒への指導方針が共有化され, 指導できたか。</p>	A
②学校生活に関する項目	<p>評価項目</p> <p>(1)多様化する生徒を適切に指導する組織体制が整えられているか。</p> <p>(2)生徒の人権や個性を尊重し, 生徒の実態に即した指導がなされているか。</p> <p>(3)家庭・地域・関係諸機関との連絡・連携は適切に行われているか。</p> <p>(4)生徒は生き生きと学校生活を送っているか。</p> <p>(5)中退者を出さないための工夫・取り組みはなされているか。</p> <p>(6)生徒との信頼関係を築くことが出来たか。</p> <p>(7)どの生徒にも公平に接し, 指導できたか。</p> <p>(8)基本的な生活習慣を身につけさせるための指導は適切であったか。</p>	B

## 3. 進路指導に関する事項

①学校組織としての進路指導に関する項目	<p>評価項目</p> <p>(1)生徒の特性を考慮し, 進路希望を踏まえた年間指導計画を作成しているか。</p> <p>(2)入学から卒業までを見通した系統的な指導計画を作成しているか。</p> <p>(3)生徒の進路選択に役立ち, 関心・意欲を高める工夫がなされているか。</p> <p>(4)生徒の体験的な活動を積極的に取り入れているか。</p> <p>(5)生徒や保護者に対して, 学校が持っている情報を適切に伝えているか。また, わかりやすく伝える工夫がなされているか。</p> <p>(6)生徒の進路選択にあたり, 生徒や父母等の意見要望を十分に把握し, 尊重するように努めているか。</p> <p>(7)生徒の情報収集のための施設・設備は十分かつ適切に配置されているのか。</p> <p>(8)進学や就職のみでなく, 職業観を成就させる指導に努めているか。</p> <p>(9)学校行事に進路行事が適切に計画されているか。</p> <p>(10)実力テスト等外部模試が生徒の実態にあって実施され, 活用されているか。</p> <p>(11)進路目標を達成することができたか。</p>	A
②教員個々の進路指導への関わりに関する項目	<p>評価項目</p> <p>(1)生徒の個性・適性・希望・能力に応じた指導ができたか。</p> <p>(2)生徒の進路選択のために, きめ細やかな情報提供を行ったか。</p> <p>(3)保護者とのコミュニケーションは円滑に行われたか。</p> <p>(4)小論文, 志望理由書など事前指導が十分できたか。</p> <p>(5)三者面談や保護者会などで生徒や保護者の意見, 要望の把握に努めたか。</p> <p>(6)出願等の生徒の進路に関わる書類等の作成や指導が適切に行えたか。</p>	A

## 4. 生徒会・部活動に関する事項

①生徒会・部活動やボランティア活動に関する項目	<p>評価項目</p> <p>(1)生徒会活動に対する指導は, 適切に実施されているか。</p> <p>(2)生徒の意見を取り入れながら生徒会活動を活性化させ, 学校の改善に役立っているか。</p> <p>(3)生徒会活動では, ボランティア活動や交流活動を行うなど自主性, 社会性を育むような工夫がなされているか。</p> <p>(4)生徒会活動を通して, 自主性, 自立性を高め, 豊かな人間関係を育成する工夫をしているか。</p> <p>(5)生徒会が自主的に部活動や学校行事を運営するなど, その活動を活性化するような工夫をしているか。</p> <p>(6)学校行事では校風や教育目標を理解し, 特色を出すような工夫や改善を図っているか。</p> <p>(7)クラブ活動等, 課外活動は活発に行われているか。</p> <p>(8)クラブ活動等, 課外活動の指導体制は適切であるか。</p> <p>(9)生徒会活動, クラブ活動を行うのに十分な施設や設備は整えられているか。</p> <p>(10)生徒会費の活用を適正に行われているか。</p>	B
②課外活動	<p>評価項目</p> <p>(1)活動の間, 常に立ち会うように努めたか。</p> <p>(2)生徒の意識や状況を踏まえ, 自立的・意欲的な活動の推進に努めたか。</p> <p>(3)生徒の能力に配慮して指導を進めたか。</p> <p>(4)保護者とのコミュニケーションは十分にとれているか。</p> <p>(5)生徒の出欠席等の状況を把握し, 適切な指導を行ったか。</p> <p>(6)目標を達成または, 満足できる成果を上げることができたか。</p>	A

## 平成28年度岩瀬日本大学高等学校外部評価結果報告書

### 1. 平成28年度外部評価委員会の実施状況

- ①日時平成29年3月4日(土)12時より15時30分
- ②場所 授業及び部活等見学会(12時～14時);校内全般  
外部評価委員会(14時～15時30分);本校B棟3階会議室
- ③出席者氏名(11名)  
坂寄誠委員長代行(父母と教師の会副会長), 真家隆史委員(後援会会長), 小幡康委員(体育後援会会長)  
深谷治之委員(岩瀬東中学校長), 宇佐美徹委員(岩瀬西中学校長), 福留洋明委員(同窓会), 柿木大和(OB)  
仁平ミュキ(支部), 鳶田早苗委員(支部), 田崎智幸委員(支部), 飯岡睦生(支部)

#### \* 評価票のみ(3名)

池田昇(支部), 田山哲博(支部), 高野健治委員(OB)  
学校教職員8名  
齊藤克朗校長, 伊藤芳博事務局長, 青木泰徳教頭, 高橋智彦事務長, 小泉英喜副教頭  
箱根崇行副教頭, 小泉孝雄主事, 齊藤猛之主事

### 2. 評価事項

平成28年度の外部評価事項は, 本校の教育活動を次の4項目に大分類した。

- ①学力向上に関わる事項
- ②学校生活に関わる事項
- ③進路指導に関わる事項
- ④生徒会・部活動に関わる事項

### 3. 外部評価方法及び評価基準

学校の教育活動の観察や教育活動に関する質疑応答を通し, 本校の自己評価結果(自己評価基準A:よくできている, B:できている, C:あまりできていない, D:できていない)が適切であったかを3段階(「もっと高い評価をすべき」, 「校内評価は適切である」, 「もっと厳しい評価をすべき」)で評価する。

### 4. 評価に使用した参考資料

- ①平成28年度岩瀬日本大学高等学校自己評価結果及び外部評価票
- ②各種アンケート結果:
  - ・学校自己点検アンケート(本校の専任教員の教科別, 学年別に集計したもの)
  - ・教員自己評価アンケート  
(本校の全教員が, 自分が関わった教育事項について回答たものの集計)
  - ・生徒授業アンケート(学校生活や授業について全校生徒が回答したもの;9月実施)
- ③到達度テスト分析結果
- ④平成28年度進路状況(2月8日現在のもの当日最新版を配布します)
- ⑤本校広報誌「桜真」, 入試広報誌「岩日だより」, 新聞部「岩日タイムズ」

## 外部評価結果総合

自己評価結果は適切である。

### 1. 学力向上に関する事項

①授業に関する項目	<p>評価項目</p> <p>(1)指導目標は十分達成されているか。</p> <p>(2)教科の目標・指導内容・評価計画等を明確にした年間指導計画を作成しているか。</p> <p>(3)生徒一人一人が主体的に学習に取り組む工夫がなされているか。</p> <p>(4)生徒個々に合わせた指導を行っているか。</p> <p>(5)適切な成績・進級判定ができているか。</p> <p>(6)生徒に満足される授業ができているか。</p>	適切
②学習環境および連携に関する項目	<p>評価項目</p> <p>(1)施設・設備は教育活動に支障がないか。</p> <p>(2)各コースにあったカリキュラム編成ができているか。</p> <p>(3)1クラスの人数は適正であるか。</p> <p>(4)生徒の学習、課外活動に対して、図書室等の施設、運営は有効に機能しているか。</p> <p>(5)生徒の成績や学習状況が把握され、その情報が共有されているか。</p> <p>(6)問題を抱える生徒への指導方針が共有化され、統一された指導がなされているか。</p>	適切
③成績管理および教員研修に関する項目	<p>評価項目</p> <p>(1)生徒の個人情報の管理および生徒指導要録の記入、指導、点検、保管は的確になされているか。</p> <p>(2)教員の資質向上のために自己研修に努めているか。</p> <p>(3)授業改善に向けた組織的な取り組みや工夫がされているか。</p> <p>(4)校内・校外への研修参加を奨励したり研究紀要へ投稿を促す等、教職員の資質の向上に配慮しているか。</p>	適切

### 2. 学校生活に関する事項

①学年および学級運営に関する項目	<p>評価項目(資料3, 資料4及び資料5参照)</p> <p>(1)学年・学級の目標、指導計画を明確に示され、運営されていたか。また、その反省を行ったか。</p> <p>(2)LHRの時間が計画的に運営されていたか。また、その反省を行ったか。</p> <p>(3)学年の役割分担を果たし、組織の一役を担っているか。</p> <p>(4)学校行事等に計画的、積極的に参加する指導ができたか。また、事後指導ができたか。</p> <p>(5)生徒の健康や生活状況が把握され、その情報を共有し指導できたか。</p> <p>(6)生徒の成績や学習状況が把握され、その情報が共有され指導できたか。</p> <p>(7)問題を抱える生徒への指導方針が共有化され、指導できたか。</p>	適切
②学校生活に関する項目	<p>評価項目</p> <p>(1)多様化する生徒を適切に指導する組織体制が整えられているか。</p> <p>(2)生徒の人権や個性を尊重し、生徒の実態に即した指導がなされているか。</p> <p>(3)家庭・地域・関係諸機関との連絡・連携は適切に行われているか。</p> <p>(4)生徒は生き生きと学校生活を送っているか。</p> <p>(5)中退者を出さないための工夫・取り組みはなされているか。</p> <p>(6)生徒との信頼関係を築くことが出来たか。</p> <p>(7)どの生徒にも公平に接し、指導できたか。</p> <p>(8)基本的な生活習慣を身につけさせるための指導は適切であったか。</p>	適切

### 3. 進路指導に関する事項

①学校組織としての進路指導に関する項目	<p>評価項目</p> <p>(1)生徒の特性を考慮し、進路希望を踏まえた年間指導計画を作成しているか。</p> <p>(2)入学から卒業までを見通した系統的な指導計画を作成しているか。</p> <p>(3)生徒の進路選択に役立ち、関心・意欲を高める工夫がなされているか。</p> <p>(4)生徒の体験的な活動を積極的に取り入れているか。</p> <p>(5)生徒や保護者に対して、学校が持っている情報を適切に伝えているか。また、わかりやすく伝達する工夫がなされているか。</p> <p>(6)生徒の進路選択にあたり、生徒や父母等の意見要望を十分に把握し、尊重するように努めているか。</p> <p>(7)生徒の情報収集のための施設・設備は十分かつ適切に配置されているのか。</p> <p>(8)進学や就職のみでなく、職業観を成就させる指導に努めているか。</p> <p>(9)学校行事に進路行事が適切に計画されているか。</p> <p>(10)実力テスト等外部模試が生徒の実態にあって実施され、活用されているか。</p> <p>(11)進路目標を達成することができたか。</p>	適切
②教員個々の進路指導への関わりに関する項目	<p>評価項目</p> <p>(1)生徒の個性・適性・希望・能力に応じた指導ができたか。</p> <p>(2)生徒の進路選択のために、きめ細やかな情報提供を行ったか。</p> <p>(3)保護者とのコミュニケーションは円滑に行われたか。</p> <p>(4)小論文、志望理由書など事前指導が十分できたか。</p> <p>(5)三者面談や保護者会などで生徒や保護者の意見、要望の把握に努めたか。</p> <p>(6)出願等の生徒の進路に関わる書類等の作成や指導が適切に行えたか。</p>	適切

#### 4. 生徒会・部活動に関する事項

<p>①生徒会・部活動やボランティア活動に関する項目</p>	<p>評価項目            (1)生徒会活動に対する指導は、適切に実施されているか。            (2)生徒の意見を取り入れながら生徒会活動を活性化させ、学校の改善に役立てているか。            (3)生徒会活動では、ボランティア活動や交流活動を行うなど自主性、社会性を育むような工夫がなされているか。            (4)生徒会活動を通して、自主性、自立性を高め、豊かな人間関係を育成する工夫をしているか。            (5)生徒会が自主的に部活動や学校行事を運営するなど、その活動を活性化するような工夫をしているか。            (6)学校行事では校風や教育目標を理解し、特色を出すような工夫や改善を図っているか。            (7)クラブ活動等、課外活動は活発に行われているか。            (8)クラブ活動等、課外活動の指導体制は適切であるか。            (9)生徒会活動、クラブ活動を行うのに十分な施設や設備は整えられているか。            (10)生徒会費の活用を適正に行われているか。</p>	<p>適切</p>
<p>②課外活動</p>	<p>評価項目            (1)活動の間、常に立ち会うように努めたか。            (2)生徒の意識や状況を踏まえ、自立的・意欲的な活動の推進に努めたか。            (3)生徒の能力に配慮して指導を進めたか。            (4)保護者とのコミュニケーションは十分にとれているか。            (5)生徒の出欠席等の状況を把握し、適切な指導を行ったか。            (6)目標を達成または、満足できる成果を上げることができたか。</p>	<p>適切</p>

平成29年度取り組み目標と方策

評価項目	取組目標	取り組み	具体的方策
教育活動 (教務)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上</li> <li>・教員の資質の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導内容の確認と徹底</li> <li>・教師・生徒の授業に対する姿勢の向上</li> <li>・生徒の学習の質と量の把握</li> <li>・授業の質の向上</li> <li>・教科科目指導内容の充実と周知</li> <li>・履修の完了</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テストや模試の意義を生徒に伝えることにより目標設定や学習計画の設定が出来るようにする。</li> <li>・規律ある授業とは何かを研修する。</li> <li>・FR手帳や面談を通し、学習を継続する力を支援し生徒個々にあった学習内容を支援する。連休や長期休業中の宿題・課題管理を行う。</li> <li>・公開授業を年2回実施することで、教員同士お互いの授業を見つめ直し、より良い授業を作り上げる研鑽の場を持つ。</li> <li>・指導計画表のあり方を探り、生徒、保護者に公開できるシラバスの研究を行う。</li> <li>・未履修になることが無いように授業の進捗表を検証して行く。</li> </ul>
学校生活 への配慮 (生徒指導)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣の確立</li> <li>・マナーの向上</li> <li>・いじめ未然防止</li> <li>・場を清める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コース・学年と連携、協力し服装及び頭髪などの指導を徹底する。</li> <li>・爽やかな挨拶や学校外での節度有る態度を心がけさせ、マナーの向上を目指す。</li> <li>・普段から生徒の様子を観察し、いじめの未然防止を図る。</li> <li>・清掃の確認と徹底を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こまめな指導を継続する。</li> <li>・HRや授業の開始時、終了時にも挨拶を徹底させる。また、通学時等のマナーについても普段から生徒に呼びかける。</li> <li>・年間3回のいじめアンケート調査により、実態を把握し、必要に応じて指導する。</li> <li>・清掃後の確認の徹底を図る</li> </ul>
生徒会・部活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会活動の活性化</li> <li>・関東・全国大会出場</li> <li>・部活動による人間教育の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒からの意見を聞くなどして、生徒の学校生活の充実を図る。</li> <li>・生徒が自ら計画し、行動できるように生徒会行事を工夫する。</li> <li>・部活動においては関東大会や全国大会出場を目指す。また、部活動を通じて豊かな人間教育を推進し、社会貢献できる人材の育成に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目安箱、アンケート調査を実施。生徒総会を通し、生徒のニーズに応えられるように活動する。</li> <li>・選手の強化のみならず周囲の生徒の模範となるようなマナーの向上を指導者に呼びかける。</li> </ul>

平成29年度取り組み目標と方策			
評価項目	取組目標	取り組み	具体的方策
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年との連携の充実</li> <li>・キャリア教育の充実</li> <li>・進路決定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実力試験を管理し、活用を促し、有効性を検討する。</li> <li>・生徒が自主的に進路について調べたり、相談できる体制を作る。</li> <li>・生徒が第一志望の進路を実現できるように説明会や面談を企画する。</li> <li>・面接指導や小論文指導に関わる教員に資料を提供できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実力試験の成績をDB化し、次年度の計画に活用する。</li> <li>・進路資料閲覧室を整備し、内容を充実させる。</li> <li>・日本大学学部説明会、オープンキャンパスレポートを実施。</li> <li>・進路資料閲覧室を設備し、資料提供計画を作成する。</li> </ul>
保健衛生教育相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織、体系の見直し</li> <li>・連携の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洗面所、トイレの清掃と備品の補充の徹底。</li> <li>・学校として教育相談の位置づけを明確にし、全教職員の共通理解の下に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石けん、消毒液などの点検を毎日行う。</li> <li>・学年、コースとの連携を図るため、定期的な情報交換の場を設け、情報を共有する。</li> <li>・カウンセラー来校日の相談時間を公開し、空き時間に担任と連絡できるようにする。</li> </ul>
図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書室の活性化、美化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書室のさらなる活性化について検討する。</li> <li>・自習室としての図書室の活用の推進。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の積極的な図書の選定と生徒参加型の催しを推進する。</li> <li>・明確な使用ルールを示し、美化に努め、学習しやすい環境を整える。</li> </ul>
入試広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学生の確保</li> <li>・推薦志願者100名以上</li> <li>・総志願者1300名以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「本校の売り」を明確にし、教職員全員の意思統一を図る。</li> <li>・認知度、理解度そして信頼度の向上を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校訪問を通して中学校との信頼関係を築く。</li> <li>・学校見学会や説明会を活用する。</li> <li>・昨年リニューアルしたホームページの充実を図り、動画なども取り入れ、受験生への認知度を高める。また、今年度4月に公開した在校生・保護者専用の内部サイトを通して、学校生活の様子を見てもらい、安心感、信頼感を高める。</li> </ul>
情報処理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報処理</li> <li>・データの保管</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の個人情報など管理データの保守に万全を尽くす。</li> <li>・校内情報機器の整備</li> <li>・情報教室および校内のLAN整備</li> <li>・平成30年度導入予定の教員用・生徒用パソコンの購入準備を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的にバックアップ取る。</li> <li>・校内ネットワークのメンテナンス各部署と連携しながら検討する</li> <li>・土浦日大の情報処理室と連携し、生徒の個人ID設定システムを導入する</li> </ul>



平成29年度取り組み目標と方策			
評価項目	取組目標	取り組み	具体的方策
庶務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役割の明確化</li> <li>・業務の連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役割分担を明確化し、円滑な業務運営を行う。</li> <li>・1つの業務を複数の担当者で行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各役割分担を明確にし、早い時期から準備を始める。</li> <li>・一つの業務を一人の教員が長年担当している場合があり、一つの業務はできるが他の業務はできない場合も多い。知識・技術を若手に伝えるためにも、複数で業務に当たるようにする。</li> </ul>
1 学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習面においては、授業第一主義を掲げ、計画的な学習立案が出来ることをめざす。</li> <li>・進路面においては早期からの自己分析と進路研究を目指す。</li> <li>・生活面においては、他者理解を図り、生きる力の育成を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室の観察（授業中だけでなく、休み時間や放課後も）</li> <li>・学習手帳の活用</li> <li>・資格検定試験への挑戦</li> <li>・放課後学習の勧め</li> <li>・朝学習の勧め</li> <li>・挨拶の励行</li> <li>・服装・頭髪の指導</li> <li>・計画的な面談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の様子をこまめに確認し、集中させる。</li> <li>・HR・授業において学習手帳を開く機会を増やし、メモを取る習慣をつけさせる。</li> <li>・HRにおいて、資格試験の案内をし受検を促す。</li> <li>・午後8時までの校内での学習を勧める。</li> <li>・朝のHRまでの時間を活用し、プリント学習を勧める。</li> <li>・基本的な生活習慣が身につけられるよう、挨拶を促し、服装・頭髪を整えるよう指導する。</li> <li>・生徒の状況を踏まえ、機を捉えた面談を実施していく。</li> </ul>
2 学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に学習する力を育み、日大・総合クラスでは、ベネッセの学力到達度ゾーンでB3以上を50名。国立は進研模試偏差値55以上15名を目指す。</li> <li>・明確な理由が述べられる進路選択。</li> <li>・楽しい学校環境作り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日総クラス課外授業の工夫と放課後学習の推進する。</li> <li>・総合学習に計画的に取り組み、「振り返り力」と「先読みできる力」を高め、明確な進路情報を収集させる。</li> <li>・人間性の成長を促ように学校行事の活用する。また、教員と生徒の対話の機会を多く作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時期を押さえた年4回の計画的な面談の実施（春：4月中旬、夏：夏期休業中、秋：9月中旬、冬：1月中旬）</li> <li>・FR手帳を用いた「記録」に加えた「計画」と「振り返り」の指導。</li> <li>・進路サポート（教材）の計画的な実施</li> <li>・通年課外に小論文指導の導入と実力テスト解説（英数国のみ）</li> <li>・放課後学習の推進と学習のやり方指導</li> <li>・桜瑛祭、体育祭を通したリーダーの育成。また、大学訪問、修学旅行総合学習など学校行事を通した進路指導の実施</li> </ul>

平成29年度取り組み目標と方策

評価項目	取組目標	取り組み	具体的方策
3学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上</li> <li>・進路達成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力不足の生徒に対して、各教科担当者の協力を得ながら対応する。上位層について、さらに成績が伸長するように促す。</li> <li>・教員間での共通理解を持ちながら、生徒の進路達成に向けた指導を行う。日本大学への進学を第1に考えた指導を行うがその他の進路希望に対しても生徒の適性に併せた指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業担当者会議の実施をする。</li> <li>・基礎学力到達度テストで成績順位8割以内に入れるように生徒一人一人に注視しながら、課外授業、特別編成授業を含めた学習指導を実施する。</li> <li>・日本大学の推薦制度の研究</li> <li>・就職希望者ガイダンスの実施</li> <li>・面接、小論文指導の実施</li> </ul>
国立コース (3学年) ※3学年に 統合する予 定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒一人一人の多様な進路選択に対応できるよう教員間で連携し、学習指導・進路指導を行う。</li> <li>・国公立大学合格率30%以上、またMARCH等の難関私大、医療系大学への合格を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成績層に応じた模擬試験実施後のグループ指導や個別指導の実施</li> <li>・計画的な面談の実施</li> <li>・大学入試センター試験の研究</li> <li>・日本大学基礎学力テストの研究</li> <li>・家庭学習の工夫と放課後自学習の推進</li> </ul>